

オホーツク地域の再生と「オホーツク学」の展望 ーいま、産学行連携に何が求められているかー

- と き 2008年 12月 12日（金）（12:20 受付開始）
2008年 12月 13日（土）（8:30 受付開始）
- ところ 東京農業大学オホーツクキャンパス 大講義室

【開催主旨】

この度の第2回オホーツク実学市民公開講座および「現代GP（Good Practice）」フォーラムでは、第1日目に「オホーツク地域の再生と「オホーツク学」の展望」と題し、第2日目に「現代GP：オホーツク学・エゾシカ学の到達点と展望を考える」と題して、産学行連携・協働によるオホーツク地域衰退からの再生を目的とした「オホーツク学」の創造をどのように展望していくのかを課題として、本学の創設者である榎本武揚先生の“実学の精神”を受け継ぎながら、全国で実践されている取り組みから学んでいこうと思います。

○ 第1日目 ○ 第2回 オホーツク実学市民公開講座（シンポジウム）

13:00～ 開会式

13:10～ 基調講演 「榎本武揚からみた世界史とオホーツク海圏」

講師 臼井 隆一郎（東京大学教授）

14:10～ パネルディスカッション

問 題 提 起 黒瀧 秀久（東京農業大学 オホーツク実学センター長）

中原 章博（網走商工会議所 会頭）

高橋 修平（北見工業大学 地域共同研究センター長）

重本 直利（龍谷大学 経営学部教授）

コメンテーター 榎本 隆充（東京農業大学 客員教授）

コーディネーター 田中 俊次（東京農業大学 産業経営学科長）

小松 善雄（東京農業大学 産業経営学科教授）

17:00～ 閉会

交流会

○ 第2日目 ○ 「現代GP」フォーラム「オホーツク学・エゾシカ学の到達点と展望を考える」

9:00～ 開会式

9:10～ パネルディスカッション

環オホーツク海圏広域交流教育プログラム

知床世界自然遺産エコシステムマネジメント教育プログラム

流域生態系連携活性化教育プログラム

新規就農ビジネス教育プログラム

エコ・グリーン・マリン・ツーリズム教育プログラム

エゾシカ学教育プログラム

コメンテーター 吉田 穂積（東京農業大学 生物生産学科教授）

コーディネーター 鈴木 悌司（東京農業大学 生物生産学科教授）

美土路知之（東京農業大学 産業経営学科教授）

12:20～ 閉会式